

平成30年度出雲市スポーツ振興事業実績

基本目標	基本方針	基本施策	掲載ページ
1 スポーツがあふれるまちづくり	(1)ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	①幼年期のスポーツ活動の推進(未就学児)	1
		②青少年期のスポーツ活動の推進(小学生)	
		〃(中学生～高校生)	
		③成年期のスポーツ活動の推進(19歳～64歳)	2
		④高齢期のスポーツ活動の推進(65歳以上)	
	⑤障がい者のスポーツ活動の推進	3	
	(2)各種スポーツ大会の充実	①スポーツ団体による各種スポーツ大会の開催	4
		②市民参加型スポーツ大会の開催・支援	4, 5
		③2020東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進	5
		④各種スポーツ大会の情報発信	6
	(3)スポーツツーリズムの推進	①スポーツイベントの開催・支援	7
②スポーツ活動によるシティセールスの推進		7, 8	
③スポーツイベントの情報発信		8	
2 スポーツを担う人づくり	(1)指導者及びボランティアの育成	①指導者の育成・確保	9
		②U・Iターンによる優秀な指導者の確保・発掘	
		③スポーツ推進委員の資質向上	
		④スポーツボランティアの確保	
	(2)選手強化施策の充実	①ジュニア期におけるアスリートの育成強化	10
		②トップアスリートの競技力の向上	11
3 スポーツを支えるネットワークづくり	(1)スポーツ環境の充実	①スポーツ施設の管理運営と新たな整備促進	12
		②スポーツ団体の組織強化と活性化	
		③スポーツ施設に関する情報発信	
	(2)学校等とスポーツ団体の連携強化	①学校等とスポーツ団体との連携	13
		②スポーツ団体間における連携の促進	
		③スポーツによる子育て支援	
		④スポーツにおける連携強化と交流の促進	

基本目標１ 「スポーツがあふれるまちづくり」

基本方針(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

基本施策	具体施策	平成３０年度実施内容	担当課としての評価・課題
① 幼年期のスポーツ活動の推進	ア 遊びやスポーツの楽しさ、大切さを伝える講座の実施	《行政》 少年少女スポーツ振興事業（出雲市スポーツ好きっ子育成事業） 【事業概要】 子どものスポーツに親しむ環境づくりを行うとともに、基礎的な身体の動きとスポーツの基礎能力を育む。 【事業内容】 出雲市スポーツ少年団に委託し、幼児・小学生を対象に、スポーツを始めるきっかけづくりのための教室と、保護者・指導者を対象としたスポーツ障害予防講習会を実施した。 (1) 実施事業 ① スポーツ教室（幼児、小学生対象） 実施種目：陸上競技、体操、スケート、ダンス、バスケットボール、剣道、ニュースポーツなど ② スポーツ講座（保護者等対象） スポーツ障害予防講習会 ③ 全受講生を対象とした交流会 (2) 事業実績 年度 参加者数 教室 講座 交流会 全体経費 負担金額 H30 134人（１人） 51回 1回 1回 1,336,002円 800,000円（委託料） ※見込 H29 95人（２人） 51回 1回 1回 1,180,003円 800,000円（ 〃 ） H28 115人（６人） 44回 2回 1回 1,260,005円 800,000円（ 〃 ） H27 131人（９人） 50回 2回 1回 1,376,000円 800,000円（ 〃 ） ※（ ）内の人数は、スポーツ少年団に加入している参加者	【評価】 幼年期のスポーツ活動は「少子化やスポーツニーズの多様化」「スポーツに積極的に参加する子どもと全く関心を寄せない子どもの二極化」といった問題がある。本事業は、参加児童の９割以上がスポーツ少年団未加入者であり、本事業への参加を機にスポーツに興味・関心を持ち、スポーツを始めるきっかけづくりの場として効果があがっている。 【課題】 参加人数の増加を図るため、本事業をより魅力ある事業内容に充実させるとともに、効果的な周知方法を検討する必要がある。また、本事業の実施にあたり、スポーツ振興くじ助成金を財源としているが、助成事業に採択されなかった場合の財源を確保する必要がある。
	イ 親子・子ども同士でできるスポーツ活動の実施	【再掲】 少年少女スポーツ振興事業（出雲市スポーツ好きっ子育成事業）	
② 青少年期のスポーツ活動の推進《青少年前期（小学生）》	ア 学校体育の充実	各小学校において「体力向上推進計画」を作成し、この計画に基づき体育授業やその他の体育活動に取り組んだ。	【評価】 「体力向上推進計画」は、各校の児童の実態や学校の特徴に応じ、具体的目標を立て、その目標を達成するための工夫・改善策を盛り込み、年度末に検証する内容となっている。引き続き各学校において計画を立て、実践していくことが必要である。
	イ 遊びやスポーツの大切さを伝える講座の実施【再掲】	【再掲】 《行政》 少年少女スポーツ振興事業（出雲市スポーツ好きっ子育成事業）	
	ウ 親子・子ども同士でできるスポーツ活動の実施【再掲】	【再掲】 《行政》 少年少女スポーツ振興事業（出雲市スポーツ好きっ子育成事業）	
	エ スポーツ少年団等への加入促進	《行政》 少年少女スポーツ活動推進事業（スポーツ少年団活動推進事業補助） 【事業概要】 スポーツ少年団活動への補助を行い、少年少女のスポーツ活動の推進を図る。 【事業内容】 出雲市スポーツ少年団本部及び各単位団が実施する事業の開催経費の一部を補助した。（補助対象経費の２分の１以内とし、予算の範囲内で交付） (1) 補助対象事業 全体交流会、団員募集事務、大会等開催事業、ボランティア活動及び地域行事への参加事業、種目別交流事業 (2) 事業実績／スポーツ少年団加入実績 年度 事業件数 参加者数 全体経費 補助金額 団数 団員数 加入率（小学生以下） H30 117事業 — 17,502,373円 6,000,000円 88団 1,713人 16.8％ H29 109事業 14,328人 14,117,371円 5,707,012円 89団 1,830人 18.1％ H28 113事業 10,004人 14,546,319円 5,916,700円 90団 1,865人 — H27 109事業 13,652人 13,954,512円 5,828,378円 92団 2,020人 20.1％	【評価】 少年少女のスポーツ活動はもとより、青少年の健全育成の観点に立った地域活動に対し、スポーツ少年団本部をとおして支援を継続していくことが必要である。 【課題】 年々加盟単位団数及び団員数が減少傾向にあることから、出雲市スポーツ好きっ子育成事業等を活用した幼少年期からのスポーツへの参加機会の提供や、団員募集を広く周知するための方法について検討する必要がある。さらに、より魅力あるスポーツ少年団の事業を実施することにより、加盟単位団や団員へのメリットを創出する必要がある。
	オ スポーツ団体によるスポーツ教室の開催	体育協会加盟の種目団体、総合型地域スポーツクラブ、ＮＰＯ法人など各スポーツ団体等が、各種スポーツ教室を開催した。	【評価】 各スポーツ団体等が各種スポーツ教室を開催され、小学生がいろいろな運動を体験できる機会が提供されている。 【課題】 参加者の拡大を図るため、より積極的な広報を展開していく必要がある。
	ア 学校体育（体育授業・部活動）の充実	各中学校において「体力向上推進計画」を作成し、この計画に基づき体育授業やその他の体育活動に取り組んだ。 《行政》 各中学校からの要望に応じ、部活動の技術指導を行う外部指導者（地域指導者）を１２人配置した。	【評価】 「体力向上推進計画」は、各校の生徒の実態や学校の特徴に応じ、具体的目標を立て、その目標を達成するための工夫・改善策を盛り込み、年度末に検証する内容となっている。引き続き各学校において計画を立て、実践していくことが必要である。 【課題】 部活動の外部指導者については、従来の地域指導者に加え、平成３１年度から外部指導者制度の運用も始まる予定である。指導者人材の確保について、必要に応じ、各スポーツ団体との協力・連携を図っていく必要がある。
	イ 中学生・高校生をとりまく社会体育環境の充実		【課題】 中学生・高校生をのスポーツ活動の場は、学校体育（授業、部活動）が中心となっているが、各スポーツ団体等が実施する地域のスポーツ活動にも中学生・高校生が積極的に参加できるよう、効果的な参加者募集等の広報を展開していく必要がある。

基本目標1 「スポーツがあふれるまちづくり」

基本方針(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

基本施策	具体施策	平成30年度実施内容	担当課としての評価・課題
③ 成年期のスポーツ活動の推進	ア 競技スポーツの推進	《行政》体育協会振興事業（出雲市体育協会事業費補助） 【事業概要】出雲市体育協会に補助金を交付してスポーツ大会等の事業を実施し、競技力向上や健康増進活動、生きがいづくりなど、スポーツをととしたまちづくりを推進する。 【事業内容】出雲市体育協会が実施する事業の開催経費の一部を補助した。 (1) 補助対象事業 ① スポーツ大会開催補助 出雲市体育協会加盟種目団体が主管するスポーツ大会の開催経費の一部を補助した。 （補助対象経費の2分の1以内とし、予算の範囲内で交付） ② 出雲市体育協会本部・支部事業費補助 出雲市体育協会本部及び各支部が行う事業の経費の一部を補助した。 （補助対象経費の2分の1以内とし、予算の範囲内で交付） (2) 出雲市体育協会事業実績 年度 事業名 事業数 参加者数 全体経費 補助金額 備 考 H30 本部・支部事業 123事業 — 人 26,432,872円 13,753,800円 ※見込 市内大会開催事業 115事業 — 人 17,038,360円 7,246,200円 ※見込 H29 本部・支部事業 118事業 42,608人 23,371,599円 12,449,854円 市内大会開催事業 112事業 18,126人 15,646,563円 6,493,517円 H28 本部・支部事業 137事業 44,336人 24,923,325円 13,045,277円 市内大会開催事業 108事業 16,674人 15,182,464円 6,434,194円 H27 本部・支部事業 144事業 42,292人 24,093,479円 12,376,209円 市内大会開催事業 109事業 17,012人 15,768,008円 6,632,005円	【評価】出雲市体育協会加盟の競技団体により、各種目の市内大会が開催されており、市民にスポーツ活動の機会を提供するとともに、競技力の向上が図られている。また、出雲市体育協会を通して地区体育協会へ補助金を交付し、各地域で開催される運動会等の開催を支援することで、地域のスポーツ振興及び地域コミュニティの活性化が図られている。引き続き、出雲市体育協会事業の推進を図っていく必要がある。
	イ 生涯スポーツの推進	体育協会加盟の種目団体、スポーツ推進委員協議会、総合型地域スポーツクラブ、NPO法人など各スポーツ団体等が、各種スポーツ大会・教室・イベントを開催した。	【評価】各スポーツ団体等が各種スポーツ大会・教室・イベントを開催することにより、市民がそれぞれの興味・関心に応じてスポーツ活動に取り組むことができる機会が提供されている。 【課題】参加者の拡大を図るため、より積極的な広報を展開していく必要がある。
④ 高齢期のスポーツ活動の推進	ウ ニューススポーツの推進	《行政》スポーツ推進委員活動推進事業（出雲市スポーツ推進委員協議会事業費補助） 【事業概要】市内のスポーツの推進を図るため、出雲市スポーツ推進委員の活動を支援し、ニューススポーツの推進を図る。 【事業内容】出雲市スポーツ推進委員協議会が実施する事業の開催経費の一部を補助した。 (1) 補助対象事業 ① ニューススポーツPR事業 イベント名：出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル2018 PR種目名：スポーツチャンバラ、フット、ネットバスケ、玉入れ、ラダーゲッター 参加者数：561人 ② ニューススポーツ普及事業 趣旨：今後普及させたいニューススポーツのルール説明及び実技指導のスポーツ推進委員への講習 実施種目：スピード・ラダーゲッター、C・Cリング、スポーツ吹矢、ワンバウンドふらばーボールバレー 参加委員数：24人 (3) 事業実績 年度 事業費 PR事業費 普及事業費 各支部事業 研修会費 補助金額 H30 950,000円 144,000円 86,700円 300,000円 419,300円 852,000円 ※見込 H29 965,042円 115,256円 109,928円 300,000円 439,858円 852,000円 H28 931,244円 112,820円 70,600円 294,000円 453,824円 852,000円 H27 1,052,050円 156,743円 79,258円 300,000円 516,049円 852,000円	【評価】出雲市スポーツ推進委員協議会によるイベント会場でのニューススポーツPR事業は、ニューススポーツの楽しさを市民に伝えるよい機会となっている。また、今後普及させたいニューススポーツの講習会は、スポーツ推進委員の技能向上と、スポーツ推進委員による各地域でのニューススポーツの普及活動に役立っている。より一層のニューススポーツの推進を図るため、出雲市スポーツ推進委員協議会の活動を引き続き支援する必要がある。
	エ 健康増進・体力づくり教室等の開催	【再掲】《行政》体育協会振興事業（出雲市体育協会事業費補助） 【再掲】《行政》スポーツ推進委員活動推進事業（出雲市スポーツ推進委員協議会事業費補助）	
	ア 生涯スポーツの推進【再掲】	【再掲】《行政》体育協会振興事業（出雲市体育協会事業費補助） 【再掲】《行政》スポーツ推進委員活動推進事業（出雲市スポーツ推進委員協議会事業費補助）	
	イ 健康増進・体力づくり教室等の開催【再掲】	【再掲】《行政》体育協会振興事業（出雲市体育協会事業費補助） 【再掲】《行政》スポーツ推進委員活動推進事業（出雲市スポーツ推進委員協議会事業費補助） 《行政》「出雲市健康増進計画」に基づき、高齢になっても住み慣れた地域で元気に自立した生活が送れるように、健康づくり推進員やコミュニティセンターの協力を得て、「いきいきUPいずも健トレ教室」を大津・四絡・荒木の3地区で健康教室を開催した。	【評価】いきいきUPいずも健トレ教室終了後は、参加者同士がつながり、自主グループ化して継続するなどの成果が上がっている。今後も引き続き、高齢者の健康づくりの動機づけや運動の習慣化を図り、市民の自主的な取組が活発に行われるよう支援していく必要がある。
	ウ ニューススポーツの推進【再掲】	【再掲】《行政》スポーツ推進委員活動推進事業（出雲市スポーツ推進委員協議会事業費補助）	

基本目標1 「スポーツがあふれるまちづくり」

基本方針(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

基本施策	具体施策	平成30年度実施内容	担当課としての評価・課題
⑤ 障がい者のスポーツ活動の推進	ア 障がい者のスポーツ活動の推進	《行政》スポーツ振興事業（出雲市文化・スポーツ活動激励金交付） 【事業概要】スポーツ関係の各種全国大会に出場する個人又は団体に激励金を交付し、本市のスポーツ活動の振興を図る。 【事業内容】出雲市文化・スポーツ活動激励金交付要綱に基づき、出場選手へ激励金を交付した。 (1) 事業実績 年度 件数 対象者数 交付額 H30 107件（1件） 594人（9人） 2,970,000円（45,000円）※H31.3.1現在 H29 89件（2件） 524人（30人） 2,620,000円（150,000円） H28 91件（2件） 519人（35人） 2,595,000円（175,000円） H27 84件（1件） 611人（20人） 3,055,000円（100,000円） ※（ ）内は、障がい者スポーツの全国大会出場者への激励金交付実績	【評価】出場者のモチベーションの向上や経済的負担の軽減につながっている。
	イ スポーツ交流の場の確保	出雲市身障者福祉協会を始め障がい者関係団体及びスポーツ団体が、障がい者のための各種スポーツ大会や、障がい者と健常者の交流スポーツ大会を開催した。 出雲市・出雲市体育協会・出雲市身障者福祉協会・出雲市手をつなぐ育成会の共催で、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会出場選手の壮行会を開催した。 出雲くにびきマラソン大会において、伴走ボランティア団体「愛走フレンズ」の協力を得て、視覚障がいを持つランナーに安心して参加してもらえる態勢を整えた。	【評価】障がい者関係団体及びスポーツ団体が開催する各種大会等により、スポーツ交流の場が確保されている。 【課題】今後さらに参加者や参加機会が広がるよう、広報に力を入れる必要がある。また、今後も出雲くにびきマラソン大会に視覚障がいを持つランナーが安心して参加できるよう、伴走ボランティア「愛走フレンズ」を維持していく必要がある。

基本目標1 「スポーツがあふれるまちづくり」

基本方針(2) 各種スポーツ大会の充実

基本施策	具体施策	平成30年度実施内容	担当課としての評価・課題
① スポーツ団体による各種スポーツ大会の開催	ア スポーツ団体による各種スポーツ大会の開催	【再掲】《行政》体育協会振興事業（出雲市体育協会事業費補助）	
	イ 和田毅杯少年野球大会の開催	《行政》和田毅杯少年野球大会開催費 【事業概要】 和田毅スポーツ振興基金を活用し、少年野球大会を開催する。 【事業内容】 和田毅杯少年野球大会開催のため、開催経費の一部を負担した。 (1) 開催概要 ① 開催期間 11月23日、24日、12月2日 ② 会 場 出雲健康公園 出雲ドーム及び少年野球場 ③ 事業主体 主催：和田毅杯少年野球大会実行委員会、NP0法人出雲スポーツ振興21、出雲市 ④ 参加チーム 県内各地区の予選を勝ち抜いた16チームが出場（出雲市内8チーム、出雲市外8チーム） (2) 事業実績 年度 全体経費 負担金額 H30 1,193,700円 1,000,000円 ※見込 H29 1,097,603円 1,000,000円 H28 1,111,204円 1,000,000円 H27 1,081,656円 1,000,000円 (3) 和田毅スポーツ振興基金金額 17,340,882円 ※H30.5.31現在	【評価】本大会では、和田毅選手とふれあうことによって、将来トップアスリートをめざす子どもたちに夢と希望を与えることができている。また、市内外の予選を勝ち抜いた16チームが出場し、日頃の練習の成果を競い合うことで、競技力の向上も図られている。引き続き開催・支援を行うことが必要である。
	ウ 吉岡隆徳記念出雲陸上競技大会の開催	《行政》出雲陸上開催負担 【事業概要】 全国トップレベルの選手が出場する出雲陸上を開催し、青少年の競技力向上に寄与する。 【事業内容】 第72回吉岡隆徳記念出雲陸上競技大会開催のため、開催経費の一部を負担した。 (1) 開催概要 ① 事業期間 4月21日（土）、22日（日） ② 会 場 島根県立浜山公園陸上競技場 ③ 事業主体 主催：（一財）島根陸上競技協会、出雲市 主管：出雲市陸上競技協会 ④ 種 目 一般競技 53種目 ／ 招待種目 男女100m、男女300m、高校男子5,000m ⑥ 参加者実績 年度 出場者数 一般参加 招待選手 H30 1,392人 1,282人 110人 H29 1,282人 1,159人 123人 H28 1,073人 940人 133人 H27 1,438人 1,370人 68人	【評価】市内の小・中・高校及び一般選手の日頃の鍛錬の成果を発揮する機会を提供するとともに、今大会から日本グランプリシリーズ大会（100m、300m）に位置付けられたことにより、オリンピック出場を目指す国内のトップアスリートが多数出場し、地元選手及び市民がその走りを生で見て、刺激を受けたことで、競技力の向上につながった。あわせて、観光面での誘客にもつながった。引き続き開催・支援を行うことが必要である。
② 市民参加型スポーツ大会の開催・支援	ア 出雲くにびきマラソン大会の開催	《行政》出雲くにびきマラソン大会開催負担 【事業概要】 山陰最大級の市民マラソン大会を開催し、市民参加型スポーツの振興と市民の体力向上に寄与する。 【事業内容】 第38回くにびきマラソン大会開催のため、開催経費の一部を負担した。 (1) 開催概要 ① 事業期間 2月24日（日） ② 会 場 島根県立浜山公園 スタート・フィニッシュ ③ 事業主体 主催：出雲市、出雲市教育委員会、出雲市体育協会、出雲市陸上競技協会 主管：くにびきマラソン大会実行委員会 ④ 種 目 ハーフマラソン（日本陸連公認）、10km（日本陸連公認）、5km、3km、1.5km ⑤ 参加者数 年度 参加者合計 一般 高校生 中学生 小学生 （内）視覚障がい者 H30 2,427人 1,807人 39人 115人 466人 12人 H29 3,162人 2,080人 164人 317人 601人 10人 ※悪天候のため中止 H28 3,384人 2,156人 166人 331人 731人 13人 ※悪天候のため中止 H27 3,181人 1,937人 186人 325人 733人 10人 （H30内訳） 市内：1,067人 ／ 県内市外：755人 ／ 県外：605人 ⑥ 招待選手 中国電力陸上競技部、青山学院大学陸上競技部（前回出雲駅伝優勝チーム）から、それぞれ選手を招待した。 ⑦ 協力体制 ・視覚に障がいのある選手について、市民ボランティア、陸上自衛隊出雲駐屯地、市職員からなるボランティア組織「愛走フレンズ」が、伴走等のサポートを行った。 ・出雲市交通指導員連絡会（約20人）、出雲市体育協会（約100人）、企業ボランティア（約20人）出雲市陸上競技協会（約100人）、市内中学生（約80人）、出雲警察署（約20人）など、総勢約600人の協力を得て、大会を運営した。	【評価】本大会は、小学3年生から一般・高齢者まで、幅広い年代の参加がある市民マラソン大会であり、アップダウンの少ない平坦なコースに挑戦する2,427人がエントリー、約2,100人が力走した。市民の体力・健康づくりはもとより、スポーツツーリズムに資する事業であり、引き続き開催・支援を行うことが必要である。

基本目標1 「スポーツがあふれるまちづくり」

基本方針(2) 各種スポーツ大会の充実

基本施策	具体施策	平成30年度実施内容	担当課としての評価・課題
② 市民参加型スポーツ大会の開催・支援	イ 一畑薬師マラソン大会の開催	《行政》一畑薬師マラソン開催負担 【事業概要】一畑薬師の1,138段の石段を駆け上がる市民マラソン大会を開催し、市民参加型スポーツの振興と市民の体力向上を図る。 【事業内容】第40回一畑薬師マラソン大会開催のため、開催経費の一部を負担した。 (1) 開催概要 ① 事業期間 10月28日（日） ② 会 場 一畑薬師周辺コース ③ 事業主体 主催：出雲市、山陰中央新報社 共催：NPO法人ひらたスポーツ・文化振興機構、出雲市体育協会雲州ひらた支部 主管：一畑薬師マラソン大会実行委員会、出雲市陸上競技協会、平田走ろう会 ④ 種 目 マラソンの部：10km(男・女)、5km(男・女) ※参加対象：満16歳以上 ウオーキングの部：3km ※参加対象：小学生以上 ⑤ 参加者数 年度 参加者合計 男子 女子 H30 1,393人 1,186人 207人 H29 1,522人 1,304人 218人 H28 1,640人 1,417人 223人 H27 1,653人 1,441人 212人 (H30内訳) 市内：596人 / 県内市外：644人 / 県外：153人	【評価】本大会は、40回目の節目を数え、参加者資格は高校生以上の一般で、1,393人がエントリーした。マラソンの部は、最後に石段を駆け上がる他にはない過酷でユニークなコースとなっており、参加者からの評判も高く、ウオーキングの部もあり、幅広い市民に参加機会を提供し、市民の体力・健康づくりにつながっている。引き続き開催・支援行うことが必要である。
	ウ スイムランin多伎への支援	《行政》スイムラン開催補助（出雲市スポーツイベント開催補助） 【事業概要】地域の活性化を目的に開催されるスイムランへの補助を行い、本市のスポーツ振興と市民の健康・体力の増進を図る。 【事業内容】スイムランin多伎の開催経費の一部を補助した。 (1) 開催概要 ① 事業期間 8月5日（日） ② 会 場 多伎町（田儀港及び田儀地内） ③ 事業主体 主催：スイムランin多伎実行委員会 協力：島根県トライアスロン協会 後援：出雲市 ④ 種 目 ロングの部…スイム2.4km、ラン21km / ショートの部…スイム1.2km、ラン10km ※前日には、キッズスイムランin多伎を開催 ⑤ 参加者数 年度 参加者合計 男子 女子 棄権 H30 403人 297人 69人 37人 H29 418人 332人 44人 42人 H28 458人 329人 68人 61人 H27 454人 331人 66人 57人 (H30内訳) 市内：48人 / 県内市外：83人 / 県外：272人 ⑥ 協力体制 地元ボランティアスタッフ250名の協力を得て実施した。	【評価】本大会は、スイミングとランニングを組み合わせた大会で、例年400人前後の参加者があり、市民の体力づくりや健康増進が図れるとともに、地域のスポーツ振興も図れている。また、県外からの参加者比率が高く、スポーツツーリズムに資するスポーツイベントであり、引き続き支援する必要がある。
	エ 出雲の国ツーデーウオークへの支援	《行政》スポーツ振興事業（出雲市スポーツイベント開催補助）※出雲の国ツーデーウオーク開催支援 【事業概要】出雲の国ツーデーウオークへの補助を行い、本市のスポーツ振興と市民の健康・体力の増進を図る。 【事業内容】出雲の国ツーデーウオークの開催経費の一部を補助した。 (1) 開催概要 ① 事業期間 5月3日（木・祝）、4日（金・祝） ② コー ス 斐川町一周42.195kmコース、出雲路一周コース（13km、20km、30km） ③ 事業主体 主催：出雲の国ツーデーウオーク実行委員会 ④ 参加者数 年度 参加者数 斐川町一周 出雲路 2日間 H30 773人 332人 206人 235人 H29 855人 384人 203人 268人 H28 912人 458人 192人 262人 H27 829人 505人 151人 173人 (H30内訳) 市内：414人 / 県内市外：93人 / 県外：266人	【評価】出雲の国ツーデーウオークは、合併前から開催されている大会で、例年800人前後の参加者がある。2日間の開催と距離別のコースを設け、体力に応じて参加ができることから、幅広い市民が参加できるイベントであり、市民の体力・健康づくりにつながっている。また、参加者の約3割が市外からの参加者であり、スポーツツーリズムにも資する事業である。引き続き支援を行うことが必要である。
③ 2020東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進	ア 2020東京オリンピック・パラリンピックを記念したスポーツ大会等の検討・実施		平成31年度から検討する。

基本目標1 「スポーツがあふれるまちづくり」

基本方針(2) 各種スポーツ大会の充実

基本施策	具体施策	平成30年度実施内容	担当課としての評価・課題
④ 各種スポーツ大会の 情報発信	ア 広報紙や市ホームページによる情報の発信	《行政》各種スポーツ大会・イベント・教室等の情報をについて、広報紙（広報いずも）及び市ホームページに掲載し、開催PR・参加者募集を行った。 ○広報いずも（出雲市のスポーツ情報 春編・秋編） 出雲市体育協会加盟団体、体育施設指定管理者が実施する各種教室やスポーツイベントについて、年2回（5月号、10月号）特集記事を掲載した。 ○広報いずも（お知らせ情報） 出雲市体育協会加盟団体、体育施設指定管理者、総合型地域スポーツクラブが実施する各種教室やスポーツイベントについて、随時掲載した。 ○市ホームページ 出雲全日本大学選抜駅伝競走、一畑薬師マラソン大会、出雲くにびきマラソン大会、ドリーム・サッカーinいずも、島根県スポーツレクリエーション祭の情報を、適宜掲載した。	【評価】「広報いずも」は幅広い年代の市民の目に触れる市の主要な広報媒体であるので、各種スポーツ大会、イベント、教室の参加募集記事の掲載を今後も引き続き行っていく必要がある。また、市外からも多くの参加者、観客が訪れるビッグイベントについては、ウェブサイトの活用が効果的であるので、引き続きホームページでの情報発信に力を入れる必要がある。 【課題】現在の市ホームページのスポーツ情報コンテンツは、情報が一元的・体系的になっておらず利便性が低いため、改善を図る必要がある。
	イ 情報発信システムの改善	《行政》市ホームページのスポーツ関連コンテンツについて、情報発信の一元化を図るため独自ドメインを取得して新たなウェブサイトを構築する案を検討したが、財政計画への計上は断念した。	【課題】平成31年度に、市ホームページのコンテンツ「出雲市のスポーツ情報」の充実・改善を図る。

基本目標1 「スポーツがあふれるまちづくり」

基本方針(3) スポーツツーリズムの推進

基本施策	具体施策	平成30年度実施内容	担当課としての評価・課題
① スポーツイベントの開催・支援	ア 出雲全日本大学選抜駅伝競走の開催	《行政》出雲駅伝負担 【事業概要】大学三大駅伝の一つである出雲駅伝を開催し、テレビ生放送等を通じて出雲の魅力を全国に発信するとともに、市民のスポーツに対する関心・意識の向上を図る。 【事業内容】第30回出雲駅伝開催のため、開催経費の一部を負担した。 (1) 開催概要 ① 事業期間 10月8日（月・祝）「体育の日」 ② コース ・スタート 出雲大社正面鳥居前（勢溜） ・フィニッシュ 出雲ドーム前 ・全区間 45.1km（1区：8.0km、2区：5.8km、3区：8.5km、4区：6.2km、5区：6.4km、6区：10.2km） ③ 事業主体 主催：公益社団法人日本学生陸上競技連合、出雲市 主管：出雲全日本大学選抜駅伝競走組織委員会 ④ 参加チーム 21チーム ⑤ TV放送 フジテレビ系列にて全国生放送 ⑥ 協力体制 ・出雲市交通安全対策協議会（約1,000人）、出雲市交通指導員連絡会（約100人）、出雲市体育協会（約200人）、出雲市陸上競技協会（約300人）、市内高校生（約100人）、島根県警察本部・出雲警察署（約100人）、陸上自衛隊出雲駐屯地（約50人）などの協力により大会を実施した。 ・多くのボランティア団体等から、除草・清掃活動、フラワーポットの設置など、コース沿線の美化協力を得た。 ⑦ 視聴率 (H27) (H28) (H29) (H30) フジテレビ 5.5% 5.1% 6.8% 8.3% T S K 14.1% 9.8% 12.5% 12.2%	【評価】出雲駅伝は、大学三大駅伝の幕開けを飾る大会として定着し、本市最大のスポーツイベントであり、スポーツの振興はもとより地域及び観光振興の面でも大きな効果をもたらしている。また、大学陸上界のトップアスリートの走りを生で見る絶好の機会であり、次世代を担う青少年に良い刺激と高い目標を与えている。出雲駅伝を開催することで、全国から人・物・金が出雲に集まり、さらに全国ネットのテレビ生放送やニュース、新聞、雑誌など各種メディア媒体で取りあげられるなど、出雲の魅力を全国へ情報発信することができ、本市にとって大きな財産となるイベントとなっている。
	イ 大相撲出雲場所の開催（3年に1回開催）		平成31年度に実施する。
	ウ なでしこリーグ戦の招致		今後の実施予定はない。
	エ 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会の開催（平成28年度）		平成28年度に実施済み。
	オ 出雲くにびきマラソン大会の開催【再掲】	【再掲】《行政》くにびきマラソン大会開催負担	
	カ 一畑薬師マラソン大会の開催【再掲】	【再掲】《行政》一畑薬師マラソン開催負担	
	キ 和田毅杯少年野球大会の開催【再掲】	【再掲】《行政》和田毅杯少年野球大会開催費	
	ク スイムランin多伎への支援【再掲】	【再掲】《行政》スイムラン開催補助	
	ケ 出雲国ツーデーウオークへの支援【再掲】	【再掲】《行政》スポーツ振興事業（出雲市スポーツイベント開催補助）※出雲の国ツーデーウオーク開催支援	
	ー	《行政》ドリーム・サッカーinいずも開催負担 【事業概要】「スポーツがあふれるまちづくり」の取組の一環として、ドリーム・サッカーinいずもを開催し、市民が元プロアスリートのプレーを間近で観戦し、直接触れ合うことができる機会を提供する。 【事業内容】ドリーム・サッカーinいずも開催のため、開催経費の全部を負担した。 (1) 開催概要 ① 開催日 11月10日、11日 ② 場所 県立浜山公園陸上競技場 ③ 事業主体 主催：出雲市、島根県、（一財）自治総合センター 主管：ドリーム・サッカーinいずも実行委員会 ④ 内容 ア 指導者クリニック（参加者数：38人） イ 少年少女サッカー教室（参加者数：13チーム／277人） ウ PK戦（大社高校サッカー部vsドリーム・チーム） エ ドリーム・ゲーム（日本代表OB選手による「ドリーム・チーム」が出雲市選抜チームと対戦／観客動員数：4,104人）	【評価】アンケート集計結果によると、参加者・観客の満足度が非常に高いイベントだった（総合評価…「非常によい」・「ややよい」合わせて82％／また参加・観戦したい92％）。「スポーツがあふれるまちづくり」を推進するため、今後も積極的にこのようなイベントを誘致する必要がある。
② スポーツ活動によるシティセールスの推進	ア 出雲全日本大学選抜駅伝競走の開催【再掲】	【再掲】《行政》出雲駅伝負担	

基本目標1 「スポーツがあふれるまちづくり」

基本方針(3) スポーツツーリズムの推進

基本施策	具体施策	平成30年度実施内容	担当課としての評価・課題
② スポーツ活動によるシティセールスの推進	イ デリオッサ出雲F.C.への支援	《行政》出雲シティセールス（プロスポーツ化支援） 【事業概要】出雲の魅力発信や地域の一体感の醸成を図るため、なでしこリーグ参戦をめざす女子サッカーチームを支援する。 【事業内容】なでしこリーグ参入の早期実現のため、デリオッサ出雲F.C.のチーム強化等に係る費用の一部を補助した。 (1) チーム強化事業補助 (2) シティセールス事業（普及・振興に関する事業）補助 (3) 事業実績 プロスポーツ参入事業支援補助金 年度 補助金額 ホームゲーム観客数 H30 5,000,000円※見込 約2,500人（5試合合計） H29 3,994,000円 約2,500人（〃） H28 2,973,800円 約1,000人（2試合合計） H27 1,000,000円 約600人（〃）	【課題】チャレンジリーグ参入入替戦予選大会で1勝をあげたものの、入替戦本戦に出場することはできなかった。なでしこリーグを目指すには、さらなるチーム力の強化が必要である。また、チームの運営母体の自立を促すため、いつまで補助を継続していくかということについて、チーム関係者と協議していく必要がある。
	ウ スポーツ施設を活用した強化合宿の誘致の検討・実施	《行政》出雲ドームを主会場とした「ソフトボール女子TOP日本代表チーム」の強化合宿の誘致に取り組んだ。	【評価】全天候型の出雲ドームを売りとして、積極的な誘致活動が行えた。
	エ 2020東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致の検討・実施	《行政》東京2020オリンピックに出場が決定している「ソフトボール女子TOP日本代表チーム」の強化合宿の誘致が決定した。市広報誌及びホームページへ合宿決定について記事を掲載するとともに、また市庁舎懸垂幕塔に懸垂幕を掲出した。 (1) 開催概要 ① 合宿期間 2019年11月21日（木）～26日（火）（予定） ② 実施会場 出雲健康公園（出雲ドーム、多目的グラウンド等） ③ 参加人数 30人（選手20人、スタッフ10人）（予定） ④ 内 容 強化練習、市民との交流行事等（予定）	【評価】ソフトボール女子日本代表チームは、東京オリンピックでのメダル獲得が有力視されている。この強化合宿は一般公開され、市民が自由に見学できることから、そうした一流のプレーを身近に見て、肌で感じることは、市民にとって非常に貴重な機会であるとともに、特に若い世代に与える影響は大きい。 【課題】市民との交流行事等については、できるだけ多くの市民が選手と交流でき、楽しめるよう今後PRしていく必要がある。
	オ ラグビーワールドカップ2019開催に向けた事前キャンプ誘致の検討・実施		誘致は困難である。
③ スポーツイベントの情報発信	ア 広報紙や市ホームページを活用した情報の発信【再掲】		
	イ 情報発信システムの改善【再掲】		

基本目標2 「スポーツを担う人づくり」

基本方針(1) 指導者及びボランティアの育成

基本施策	具体施策	平成30年度実施内容	担当課としての評価・課題																			
① 指導者の育成・確保	ア スポーツ団体による講座・研修会等の開催	スポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会等が指導者育成の講座・研修会等を開催した。 《行政》市、島根県、（一財）自治総合センターが主催した「ドリーム・サッカーinいずも」において、サッカー指導者クリニックを開催した。 (1) 開催概要 ① 日 時 11月10日（土）14：30－16：30 ② 場 所 県立浜山公園陸上競技場 ③ 講 師 金田喜稔、前田 治（元日本代表選手） ④ 受講者 38人（市内サッカークラブ、スポ少、中学校サッカー部等の指導者）	【課題】平成31年度以降に、県において検討される2029年島根国体開催に向けた指導者確保・育成計画を踏まえて検討する必要がある。																			
	イ スポーツリーダーバンクの再構築		【課題】教員の働き方改革及び部活動の質的な向上を図ることを目的として、市内中学校の部活動において、従来の地域指導者に加え部活動指導員制度の運用が平成31年度から始まる予定である。これらに対応する人材の確保について、学校からのニーズを踏まえ検討する必要がある。																			
② U・Iターンによる優秀な指導者の確保・発掘	ア U・Iターンによる優秀指導者の確保・発掘		【課題】平成31年度以降に、県において検討される2029年島根国体開催に向けた指導者確保・育成計画を踏まえて検討する必要がある。																			
③ スポーツ推進委員の資質向上	ア スポーツ推進委員研修会の開催		平成31年度に実施する。（新任委員を主な対象者として隔年（スポーツ推進委員改選の年度）で開催している。）																			
	イ 各種研修会への参加とその支援	【再掲】《行政》スポーツ推進委員活動推進事業（出雲市スポーツ推進委員協議会事業費補助） (1) 研修会参加実績 <table><tr><th>研修会名</th><th>日程</th><th>場所</th><th>参加委員数</th></tr><tr><td>中国地区スポーツ推進委員研修会</td><td>6月16日、17日</td><td>広島県広島市</td><td>7人</td></tr><tr><td>島根県スポーツ推進委員研修会</td><td>8月25日、26日</td><td>安来市</td><td>14人</td></tr><tr><td>出雲地区スポーツ推進委員研修会</td><td>11月11日</td><td>奥出雲町</td><td>14人</td></tr><tr><td>全国スポーツ推進委員研究協議会</td><td>11月15日、16日</td><td>鹿児島県鹿児島市</td><td>5人</td></tr></table>	研修会名	日程	場所	参加委員数	中国地区スポーツ推進委員研修会	6月16日、17日	広島県広島市	7人	島根県スポーツ推進委員研修会	8月25日、26日	安来市	14人	出雲地区スポーツ推進委員研修会	11月11日	奥出雲町	14人	全国スポーツ推進委員研究協議会	11月15日、16日	鹿児島県鹿児島市	5人
研修会名	日程	場所	参加委員数																			
中国地区スポーツ推進委員研修会	6月16日、17日	広島県広島市	7人																			
島根県スポーツ推進委員研修会	8月25日、26日	安来市	14人																			
出雲地区スポーツ推進委員研修会	11月11日	奥出雲町	14人																			
全国スポーツ推進委員研究協議会	11月15日、16日	鹿児島県鹿児島市	5人																			
④ スポーツボランティアの確保	ア ボランティア団体との連携によるスポーツボランティアの確保	《行政》出雲駅伝などの大規模イベントにおいて、地区体協や交通安全対策協議会の協力を得た。 (1) 出雲全日本大学選抜駅伝競走 ・出雲市交通安全対策協議会（約1,000人） ・出雲市交通指導員連絡会（約100人） ・出雲市体育協会（約200人） ・出雲市陸上競技協会（約150人） ・市内高校生（約100人） ・島根県警察本部・出雲警察署（約100人） ・陸上自衛隊出雲駐屯地（約50人） ・りそな銀行グループカスタマーセンター島根（20人） (2) 出雲くにびきマラソン大会 ・出雲市交通指導員連絡会（約20人） ・出雲市体育協会（約100人） ・出雲市陸上競技協会（約100人） ・市内中学生・高校生・大学生（約100人） ・出雲警察署（約20人） ・視覚に障害があるランナーをサポートするボランティア組織「愛走フレンズ」（60人） ・りそな銀行グループカスタマーセンター島根（9人） ・第一生命保険島根支社（6人）	【課題】大規模イベントにおいて、地区体協や交通安全対策協議会等の協力が得られる態勢の構築ができているが、今後、各団体の協力が困難になっていくことが想定されることから、新たなボランティアの確保について検討する必要がある。																			
	イ 企業ボランティアの活用	《行政》出雲駅伝では、走路員として、りそな銀行グループカスタマーセンター島根の職員の協力を得た。くにびきマラソン大会では、走路員として、りそな銀行グループカスタマーセンター島根の職員と、新たに第一生命保険島根支社の職員の協力を得た。	【課題】大規模イベントにおいて、地区体協や交通安全対策協議会等の協力が得られる態勢の構築ができているが、各団体の協力が困難になっていくことが想定されることから、今後、ボランティアの確保の手段として、企業ボランティアを拡充していく必要がある。																			

基本目標２ 「スポーツを担う人づくり」

基本方針(2) 選手強化施策の充実

基本施策	具体施策	平成３０年度実施内容	担当課としての評価・課題
① ジュニア期におけるアスリートの育成強化	ア ジュニア期（小学生・中学生）アスリートの育成・支援	《行政》ジュニア期選手育成事業（出雲市ジュニア期選手育成事業補助） 【事業概要】オリンピックや全国大会等で優秀な成績を収めることのできる選手を輩出することを目的に、ジュニア期選手（小学生・中学生）の育成を図る。 【事業内容】出雲市体育協会が実施する出雲市ジュニア期選手育成事業の経費の一部を補助した。 (1) 強化対象 種目 強化対象 卓球 出雲市小中学選抜卓球クラブ（対象選手10名） 柔道 出雲市少年柔道強化チーム（対象選手13名） フィギュアスケート 出雲市フィギュアスケートジュニア選手強化チーム（対象選手9名） (2) 事業実績 年度 全体経費 補助金額 主な成績 H30 2,497,960円 1,500,000円 ※見込額 柔道全国大会男子個人ベスト16 H29 3,759,702円 2,000,000円 卓球全国大会団体準優勝 H28 3,584,289円 2,000,000円 柔道全国大会個人5位 H27 3,568,138円 2,000,000円	【評価】補助金を交付することで、強化選手が合宿等を行う際の経費の負担軽減となっており、強化合宿等の充実につながっている。この事業は、成果がすぐに表れるものではないが、強化対象とした選手がインターハイ等で活躍している例もあるなど、一定の成果が上がっている。 【課題】2029年島根国体も見据え、より効果的なジュニア期選手の育成・強化を図るため、育成・強化指定種目の選考方法などを検討する必要がある。
	イ 小学生・中学生への大会派遣費補助（全国大会・中国大会）	《行政》少年少女スポーツ活動推進事業（出雲市小・中学生各種大会派遣費補助） ※社会体育活動 各種大会派遣補助（出雲市小・中学生各種大会参加費補助） ※教育課程外の学校教育活動 【事業概要】社会教育又は教育課程外の学校教育活動の一環としてのスポーツ活動を通して、中国大会規模以上の各種大会に出場する児童生徒を派遣する団体等に対して補助を行うことにより、少年少女のスポーツ活動の推進を図る。 【事業内容】スポーツ活動を通して中国大会規模以上の各種大会に出場する際の旅費・宿泊費の一部を補助した。 (1) 事業実績 ① 出雲市小・中学生各種大会派遣費補助金 ※社会体育活動 年度 補助件数 交付対象者数 補助金額 H30 74件 594人 8,238,058円 ※H31.3.1現在 H29 84件 524人 7,204,434円 H28 89件 613人 8,545,705円 H27 81件 517人 6,976,098円 ② 出雲市小・中学生各種大会参加費補助金 ※教育課程外の学校教育活動（中学生のみ対象） 年度 補助件数 交付対象者数 補助金額 H30 72件 387人 5,197,535円 ※H31.3.1現在 H29 75件 444人 6,553,380円 H28 67件 424人 6,903,389円 H27 72件 452人 7,021,702円	【評価】小学生・中学生が中国大会以上の大会に出場する際の交通費及び宿泊費の一部を補助することで、大会出場者の負担軽減や大会参加機会の増加につながっていることから、引き続き支援を行うことが必要である。 【課題】持続可能な制度とするためにも、対象大会などを整理し、必要に応じて交付要綱を見直す必要がある。
	ウ 国際スポーツ競技大会出場者への激励金の贈呈	《行政》国際スポーツ大会出場選手支援事業（出雲市国際スポーツ競技大会出場激励金贈呈） 【事業概要】国際的な競技力を有する者が国際スポーツ競技大会に出場する際に、激励金を贈呈し、広く市民にPRするとともにスポーツ活動の振興を図る。 【事業内容】出雲市国際スポーツ競技大会出場激励金贈呈要綱に基づき、激励金を贈呈した。 ●オリンピック又はパラリンピック 50,000円／人 ●その他国際大会 30,000円／人 (1) 事業実績 年度 贈呈者数 贈呈金額 H30 12人 360,000円 ※H31.3.1現在 ・柔道グランプリ大会・フフホト 佐々木健志 ・第18回アジア競技大会柔道競技 “ ・柔道グランドスラム大阪大会 “ ・2018年ワールドマスターズ（中国/広州）大会 “ ・柔道グランドスラム・パリ大会 “ ・2018年香港クラシックパワーリフティング インヴィテーションナル 川島督司 ・2018年アジアクラシックパワーリフティング選手権大会 “ ・カヌースプリントジュニア・U23世界選手権大会 原 綾海 ・2018FISU 世界大学カヌースプリント選手権大会 “、足立花笑 ・カヌースプリントジュニア・U23世界選手権大会 中尾一稀 ・U21アジアビーチバレーボール選手権大会 重親亜衣 H29 8人 240,000円 H28 2人 80,000円 H27 6人 180,000円 H26 4人 120,000円	【評価】出場者のモチベーションの向上や出場者の負担軽減につながっている。

基本目標2 「スポーツを担う人づくり」

基本方針(2) 選手強化施策の充実

基本施策	具体施策	平成30年度実施内容	担当課としての評価・課題
② トップアスリートの競技力の向上	ア 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた新たな選手強化・支援策の検討・実施		平成31年度に検討する。
	イ 国際スポーツ競技大会出場者への激励金の贈呈【再掲】	【再掲】《行政》国際スポーツ大会出場選手支援事業（出雲市国際スポーツ競技大会出場激励金贈呈）	
	ウ 全国大会出場者への激励金の交付	《行政》スポーツ振興事業（出雲市文化・スポーツ活動激励金交付） 【事業概要】スポーツ関係の各種全国大会に出場する個人又は団体に激励金を交付し、本市のスポーツ活動の振興を図る。 【事業内容】出雲市文化・スポーツ活動激励金交付要綱に基づき、出場選手へ激励金を交付した。 (1) 事業実績 年度 件数 対象者数 交付額 H30 107件 594人 2,970,000円 ※H31.3.1現在 H29 89件 524人 2,620,000円 H28 91件 519人 2,595,000円 H27 84件 611人 3,055,000円 H26 80件 482人 2,410,000円	【評価】出場者のモチベーションの向上や負担軽減につながっている。

基本目標３ 「スポーツを支えるネットワークづくり」

基本方針(1) スポーツ環境の充実

基本施策	具体施策	平成３０年度実施内容	担当課としての評価・課題
① スポーツ施設の管理運営と新たな整備促進	ア スポーツ施設の適正な管理運営	《行政》市が管理するスポーツ施設について、指定管理制度等により効果的・効率的な施設運営に努めるとともに、施設の安全性や長寿命化に配慮しながら、適正な維持管理に努めた。 ・体育館 16施設 ・プール 2施設 ・サッカー場 3施設 ・野球場 6施設 ・テニス場 9施設 ・アイススケート場 1施設 ・ゲートボール場 5施設 ・グラウンドゴルフ場 1施設 ・カヌー 1施設 ・その他 24施設 計 68施設	【評価】市が管理するスポーツ施設については、安全を第一に快適な利活用ができるよう維持管理に努めており、年間で延べ１００万人を超える方の利用があり、市民のスポーツ活動の推進が図られている。 【課題】老朽化も進行していることから、今後も適正な維持管理に努め、長寿命化を図る必要がある。
	イ 新体育館の建設	《行政》県立大学出雲キャンパス周辺を建設予定地として決定し、新体育館の規模・機能など基本的な考え方を示す「新体育館建設基本計画」を策定するため、出雲市スポーツ振興審議会に諮問するなど、建設に向けた取組を行った。 【今年度の取組内容】 ・基本計画策定及びP F I 等事業手法検討業務（業者委託により実施） ・基本計画策定に係る市スポーツ振興審議会への諮問 ・文化財試掘調査 ・基本計画（素案）への市民意見募集、市民説明会を開催	【課題】平成31年度は、審議会からの答申を受けた後基本計画の策定を行い、用地取得に向けた測量や物件調査を進め、着実に建設に向けた取組をすすめる必要がある。
	ウ サッカー場の人工芝生化		平成２８年度に実施済み。
	エ ５０mプール整備の検討	《行政》平成２９年に給水設備からの漏水やプールサイドの陥没が発生し、安全な使用が確保できなくなったことから使用を中止していた出雲プールについて、「公共施設のあり方指針」の廃止方針もあることから、関係団体や地元自治協会からの了解を得て廃止した。	【課題】市内唯一の５０mプールである愛宕山プールの活用に努める必要がある。
	オ 県立野球場の整備促進	平成３０年秋に、県が改築工事に着工した。（２０２０年春竣工予定） 《行政》市は国に対し、来年度以降も県において事業費予算が確保されるよう、重点的な予算配分の継続を要望した。また県に対し、現在工事が行われているバックスタンド部分だけでなく、外野席の整備についても取り組むよう要望した。	【評価】国・県に対し、効果的な要望活動が行えた。 【課題】現在行われているバックスタンド部分の改築工事については、予定どおりの工期で確実に実施されるよう、引き続き国・県に対し事業費確保を要望していくことが必要である。また、フィールドの拡張・外野席の整備についても、現状は、現行の野球規則に適合していない、プロ野球の誘致に支障がある等の課題があることから、県に対し要望を行っていくことが必要である。
② スポーツ団体の組織強化と活性化	ア 体育協会の組織見直し		【課題】体育協会の組織見直しの協議は、平成２８年度に中断される結果となったが、体育協会の活性化及び一体感の醸成を図るため、体育協会のあり方など、再度検討する必要がある。
	イ 体育協会の活性化	【再掲】《行政》体育協会振興事業（出雲市体育協会事業費補助）	
	ウ スポーツ少年団の活性化	【再掲】《行政》少年少女スポーツ活動推進事業（スポーツ少年団活動推進事業補助）	
	エ スポーツ推進委員協議会の活性化	【再掲】《行政》スポーツ推進委員活動推進事業（出雲市スポーツ推進委員協議会事業費補助）	【課題】スポーツ推進委員の知名度向上を図るため、広報による支援を行い、もって、出雲市スポーツ推進委員協議会の活動の活性化を図る必要がある。
	オ 総合型地域スポーツクラブの活性化		【課題】スポーツ庁及び日本スポーツ協会において検討されている「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」について、適宜、情報収集に努め、必要な対応をとる必要がある。また、市内の総合型地域スポーツクラブの知名度向上を図るため、広報による支援を検討する必要がある。
③ スポーツ施設に関する情報発信	ア I C Tを活用した情報発信システムの構築	《行政》市内スポーツ施設の基本情報を市ホームページに掲載するとともに、ウェブサイトを持つ施設についてはリンクを貼り検索しやすくしている。市ホームページのスポーツ関連コンテンツについて、情報発信の一元化を図るため独自ドメインを取得して新たなウェブサイトを構築する案を検討したが、財政計画への計上は断念した。	【課題】現在の市ホームページのスポーツ情報コンテンツは、情報が一元的・体系的になっておらず利便性が低いため、改善を図る必要がある。平成３１年度に、市ホームページのコンテンツ「出雲市のスポーツ情報」の充実・改善を図りたい。

基本目標３ 「スポーツを支えるネットワークづくり」

基本方針(2) 学校等とスポーツ団体の連携強化

基本施策	具体施策	平成３０年度実施内容	担当課としての評価・課題
① 学校等とスポーツ団体との連携	ア 保育園・幼稚園とスポーツ推進委員、公認指導者等との連携の促進	保育園、幼稚園からの求めに応じ、スポーツ推進委員がニュースポーツの指導等を行った。公認指導者と保育園・幼稚園との連携状況は把握できていない。	【課題】保育園、幼稚園に各地区のスポーツ推進委員を紹介するなどにより、連携の一層の拡大を図る必要がある。公認指導者についても、状況を把握したうえで同様に対応する必要がある。
	イ 小学校とスポーツ団体の連携促進		【課題】ニーズ把握に努めたうえで検討すべきである。
	ウ 中学校・高等学校とスポーツ団体の連携の促進		《行政》部活動の外部指導者について、従来の地域指導者に加え、平成３１年度から外部指導者制度の運用も始まる予定である。指導者人材の確保について、必要に応じ、各スポーツ団体との協力・連携を図っていく必要がある。【再掲】
	エ スポーツリーダーバンクの再構築【再掲】		《行政》部活動の外部指導者について、従来の地域指導者に加え、平成３１年度から外部指導者制度の運用も始まる予定である。指導者人材の確保について、必要に応じ、各スポーツ団体との協力・連携を図っていく必要がある。【再掲】
② スポーツ団体間における連携の促進	ア スポーツ団体間のネットワークの構築		【課題】ネットワークの構築ありきではなく、その必要性について、先進事例等の情報を収集し検討する必要がある。
③ スポーツによる子育て支援	ア スポーツ団体と放課後子ども教室や児童クラブとの連携・協力		【課題】ニーズ把握に努めたうえで検討すべきである。
	イ スポーツ推進委員や公認指導者等と放課後子ども教室や児童クラブとの連携・協力	放課後子ども教室、児童クラブからの求めに応じ、スポーツ推進委員がニュースポーツの指導等を行った。公認指導者と保育園・幼稚園との連携状況は把握できていない。	【課題】放課後子ども教室、児童クラブに各地区のスポーツ推進委員を紹介するなどにより、連携の一層の拡大を図る必要がある。公認指導者についても、状況を把握したうえで同様に対応する必要がある。
④ スポーツにおける連携強化と交流の促進	ア 広域的な地域間交流の促進	《行政》スポーツ団体等により下記の広域的なスポーツ交流事業が実施され、市は補助金・負担金の交付や広報・運営協力等による支援を行った。 ・スポーツ少年団活動（市外県外チームとの強化試合等） ・しおかぜ駅伝 ・和田毅杯少年野球大会 ・島根県スポーツ・レクリエーション祭	【評価】広域的なスポーツ交流事業は、競技力向上や競技種目の振興に資するものであるため、引き続き支援を行う必要がある。
	イ 国際スポーツ交流活動の推進		２０２０東京オリンピック・パラリンピックや２０１９ラグビーワールドカップの国外チームの事前キャンプが誘致できていないため、これに関連した国際交流も実施できていない。